

信和不動産 タイでマンション開発 タイ人向け販売枠が完売

信和不動産株式会社が出資するタイの現地法人、W-SHINWA.Co.,Ltd.は日本人が多く居住するバンコクのトンロー地区にコンドミニウム(分譲マンション)を開発。当初計画していたタイ人への販売住戸枠が完売した。



同社の最高経営責任者(co-CEO)である山部友康氏と Wichai Chula-Oarnkun 氏は 2017 年 5 月 28 日(日)に、コンドミニウムプロジェクト

「RUNESU Thonglor5」のVIPに向けた発表・販売イベントをバンコク マリオットホテル スクンビットにて実施した。この物件は、日本の信和グループが開発する分譲マンション「ドルチェヴィータ」のアイデアが詰まったマンションである。当日は多くの来場者があり、当初計画していたタイ人へ販売する住戸枠がこの日で完売するなど成功を収めた。そのため、購入機会を逃したタイ人の顧客からの要望に答えるため、当初外国人へ販売予定であった住戸枠を、タイ人の顧客へ振り替えて販売できるようにするかどうかを検討中である。6月から Thonglor11 周辺でショールームを建築。8月には実際の部屋等を確認できる予定である。



RUNESU Thonglor5 プロジェクトは Thonglor5 にある約1ライ(約1600㎡)の土地にて建設される8階建て、156住戸の分譲マンション。日本とタイの良い所を兼ね備えたマンションで、デザインや機能を含め、日本にもタイにもない新しい物件を目指す。各商材の一部は日本から輸入。2017年第3四半期に建設を開始。2019年第1四半期以降に完成を予定する。

プロジェクトの総販売価格は約12億バーツ以上。

関連国・地域： タイ/日本

関連業種： 建設・不動産